

平成29年度 第2回えびの市男女共同参画推進審議会の会議結果の概要

開催日時	平成29年11月21日（火） 13：30～15：30まで		
開催場所	えびの市役所2階 2-1会議室		
出席委員	盛永ちづ子、郡山優子、佐藤以津子、永田 譲、成光 眞里子、馬籠勝則、御手洗美恵子、（敬称略）		
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	0人
議題	1 H28年度実施事業評価について 2 男女共同参画社会づくりのための市民意識調査について 3 その他		

会議の概要

報告・説明事項

1 H28年度実施事業評価についての説明

- ・ H28年度えびの市男女共同参画事業実施状況資料（事務局より）

【審議会委員の意見】

- ・ 委員・・・ 重点分野 1-2 番「男女共同参画を推進する学習会等の開催」について
男女共同参画を勉強できる場がないのでは。

<事務局・・・男女共同参画の基礎講座として人権セミナーで実施しているところだが、人権セミナーとひとつになっていることは反省すべき点である。>

- ・ 委員・・・ 評価が下がったのが 3 つほどあるが、その理由は。

<事務局・・・①重点分野 1-2 番については、西諸広域での取り組みであったが、参加人数が少なかったためA評価からB評価になった。
②重点分野 6-56 番については、健康教育が途中で中止となったため、A評価からB評価になった。
③重点分野 6-60 番については、100%の目標値に対して、76.5%の受診率のためA評価からB評価になった。>

- ・ 委員・・・ 重点分野 3-21 番「市営住宅への優先入居」について
該当者がいなかったからB、いたからAという評価の方法ではなく、体制が整っており適切に運営されているかで評価をすべきではないか。

<事務局・・・実績の有無で評価をするのではなく、取り組み体制が整っているかどうかで判断したい。>

2 男女共同参画社会づくりのための市民意識調査について説明

- ・男女共同参画社会づくりのための市民意識調査（案）（事務局より）

設問の考え方については、宮崎県が昨年第3次「みやざき男女共同参画プラン」を策定しており、その際に実施した「県民意識調査」との比較・「えびの市の前回調査」との比較・「女性活躍推進法」と「防災分野」に関する新たな設問追加から構成している。

えびの市が優先すべき課題抽出が可能となる設問設計となるように検討したところである。

- ・委員・・・以前は調査件数が1,000だったのが、なぜ今回は2,500なのか。人口も減少しているのに2,000でも良いのでは。

<事務局・・・女子活躍推進法に基づく計画にしていくためにも、現役世代の60歳未満の回答をより多くすることが重要でだと考えており、そのためには60歳未満のサンプル数の量的確保するために2,500にしたものである。>

ほか、設問内容や文言についての質問があり、割愛及び修正することを説明。

3 その他

○本年度の男女共同参画フォーラムは取り組まれるのか。時間的に無理ではないのか。

- 本年度は時間的に無理である。新年度は、予算を組み早めに取り組んでいく。

